

かみかつ 12 月号

No.609

2021
月号

イルミネーションが 始まっています



(場所:上勝小学校)

もくじ

秋季全国火災予防運動 ほか	2	案内板	9~14
地域おこし協力隊活動報告 ほか	3	フォトスケッチ	15
上勝小学校5年生を取材	4~5	町民の詩歌 ほか	16
「健康の達人」になろう	6	戸籍の窓口 ほか	17
こんにちは保健師です	7	上勝町の四季を写す ほか	18
ゼロ・ウェイスト宣言	8		

上勝町の四季を写す

「額」をつくる ～廃材から新しい価値を～」

取材：(大字正木) 我楽多工房 田首 俊彦氏

今年7月から毎月、写真家の大杉隼平さんが上勝町の自然豊かな風景や、上勝町ならではの営みなど、魅力あふれる暮らしの様子を撮影にきてくれています。その写真の“額”を現在、我楽多工房の田首さんに制作してもらっているところです。今月号では“額”の制作について田首さんにお話しを伺ってきました。

“額”制作に使用している材料は、上勝町ゼロ・ウェストセンターを建築する際に、町民の皆様からご提供いただいた障子などの建具の余りです。田首さんは、大杉さんから廃材で制作してほしいと依頼があったときはとても驚いたとのこと。しかし、依頼通りに制作していくうちに、新しい材では出せない、なんともいえないしぶくてかっこいい作品になっていったそうです。「廃材で制作するという発想がこれまでなかった。しかし、廃材ごとに使用されてきた年月や環境の違いが、それぞれに異なる風合いをかもしだし、それを組み合わせることですべてが1点ものの“額”になっていった。昔の職人が丈夫につくってくれたものが、いま自分の手で新しい価値を生み出すことができるのがうれしい。大杉さんから制作の依頼を受けたことで、こうした考え方や価値に気付くことができた。気づきのある機会になったことや、“額”を通して時代をつないでいけることがうれしいし感謝している。」

12月には、上勝小学校5年生と大杉さんとの写真撮影ワークショップが開催されます。その際に撮影した写真も後日、田首さんが制作した“額”に入れることになっています。「古いものも新しいものに生まれ変わらせることで見え方が変わることで、また使い込まれたものにこそある価値や、上勝町の人が受け継いできた歴史を子どもたちにも感じてほしい。」

今後も引き続き撮影をしてまいります。撮りためた写真は来年度展示会を開催し、お披露目する予定です。町民の皆様にご協力いただきながら撮影を進めさせていただいておりますので、引き続きご協力よろしくお願ひいたします。

おおすぎしゅんぺい
写真家 大杉隼平 さんからの
メッセージ

上勝の人達に使っていた障子や建具
 を見た時そこに何人か使っていた温もり
 を感じました。今もあんなに繰り返されて
 きた時間があるかやだと思ひます。
 田首さんと沢山の話しをして。本当に素晴らしい
 1点物の額が出来ると思ひます。
 上勝の写すこと。伝えたいこと。
 その時間の過程の中より上勝の皆さんと
 一緒に考え進んでいけたらと思ひます。

写真家 大杉隼平



写真右:大杉さん 左:(大字正木)田首俊彦さん

ようこそ上勝へ!



ディング・リンダ

年齢 / 29歳
 出身地 / カナダ オタワ
 勤務先 / 合同会社RDND
 好きな言葉 / 「すてきなご縁に感謝します」

◆メッセージ

カナダ出身の私は、休暇で上勝を訪れた際、この美しい自然に感動し、その場で移住を決意しました。現在、上勝に住んで約3年になりますが、ここは今まで私が見た中で最も美しい場所のひとつです。上勝での楽しみは、春の田植えや夏の晩茶摘みなどの農作業を手伝うことです。

今年は、友人のカナと一緒に自分たちで晩茶を作り、とても素晴らしい経験でした。上勝で出会う皆さんはいつも私を快く迎え入れてくれて嬉しく思います。ここが自分のホームだと感じさせてくれる皆さんに感謝しています。見かけたらお気軽に声を掛けてくださいね。



～「わたしも載せてほしい!」という移住者さんも大歓迎! お気軽に企画環境課(安田)までお声がけください!～